

前橋市議会議員

絆

主役は市民!

細野勝昭 活動報告

2017年(平成29年)秋号/発行:ほその会 前橋市文京町1-45-3



平成28年度 一般会計決算を認定

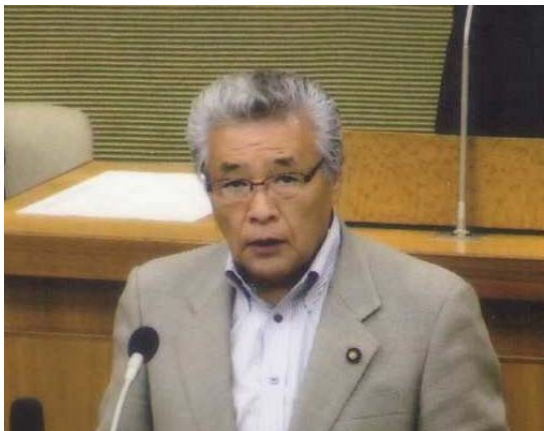
(一般会計決算額) 歳入総額 1,433億3,252万円
 歳出総額 1,410億8,540万円
 実質単年度収支△54億9,141万円

(財政指標) 実質公債費比率 8.3
 経常収支比率 98.0

(別表1)

平成28年度の重点施策

- ①住みやすさを実感できるまちづくり
- ②市民力と新たな枠組みによる地域の活力向上
- ③充実した医療環境を活かした健康医療都市の推進



決算討論をする細野議員

昨年度の決算審査を通して、平成28年度の行政運営の姿勢として、三つの重点施策(別表1)に取り組み、活性化に努められたことを「了」とした。

(審査意見)本市を取り巻く環境は少子高齢化の進展や生産年齢人口の減少などによる社会保障費等の義務的経費の増加、公共施設の老朽化対応、平成27年以降の合併特例債の段階的な減額など引き続き厳しい状況が見込まれます。

今後の財政運営に当たっては、更なる比率の改善に向けた取り組みについて検証するとともに、サマーレビューや行政評価等を踏まえた基本的な政策方針の明確化、行政運営のスリム化や効率化に向けた行財政改革を積極的に推進していくことにより、健全で自主性の高い財政運営に努めるとともに更なる市民サービスの向上を図るよう要望する。

(課題と対応) 現在、議会では、第七次総合計画策定に向けた審議をしております。



第七次総合計画は、第六次総合計画の実績を踏まえ、平成30年度から39年度までの10年間の計画策定で、将来都市像は第六次総合計画の「生命都市いきいき前橋」から「新しい価値の創造都市・前橋」そのビジョンは「めぶく。く良いものが育つまち」に変わりました。

今後、市民の方からパブリックコメントを寄せていただき、その内容を織り込み、第四回定例議会(十二月)で議決し、第七次総合計画は策定されます。

前橋赤十字病院については、翌二〇一八年春の開院を目指して工事が進められておりますが、開院後の公共交通手段や周辺道路の整備、また、隣接して小学校もありますので、騒音対策を含め環境整備に十分配慮されるよう取り組んでいきます。

また、懸案事項の日赤跡地生涯活躍のまちづくり(CCRC)事業、JR前橋駅北口地区一種市街地再開発事業・上武道路沿線に設置する「道の駅」については、それぞれ優先交渉権者が



工事が進む前橋赤十字病院(2018年春開院予定)

決定しましたので、今後提出される事業計画案と第七次総合計画との整合性など慎重に審査していきます。

沢山の政策課題を抱えておりますが、行政と議会の有機的な連携を図り、更に市民力・地域力の向上が図られるような施策展開によって活力ある前橋市の実現は可能であると確信しております。

「主役は市民でなければならぬ」との信念のもと「是々非々」で臨みます。

変わらぬご支援・ご指導をお願いします。

細野勝昭 拝

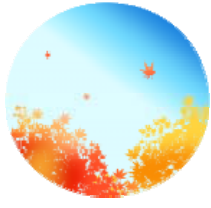
第二回(六月)定例会
総括質問(抜粋)

*まちづくり・芸術文化

ジュニア

・アーツ前橋の課題について、館外事業や地域参加企画を担う人材不足、さらに館外事業についての連携方法について問題提起されているが、どのような施策が必要と思われるのか伺います。
・文学館との交流についての考え方を伺います。

・「太陽の鐘」を前橋市が譲り受けたとはいえ、岡本太郎財団に対する著作権、補修の必要性が発生した時の対応など、すべて市独自で処理できるような契約となっているのか伺います。



*まがねのつなぐプロジェクト

・山本市長は6年目を迎えたわけですが、抱負として「前橋をもう一度輝ける都市として再生する」と述べられました。理想のまち「前橋」どのようなデザインを描いておられるのか伺います。

・第七次前橋市総合計画策定の基本構想となる部分だけに、トップダウンではなく、職員の豊富な発想や経験を引き出し活かす取り組み、さらに庁議などでの活発な論議を踏まえ指針を出す時期かと思いますが、現状での取り組み状況と経過について見解を伺います。



委員会質問をする細野議員

*中心商店街のよきわい
ジュニア

・中心市街地活性化の目標像実現に向けた取り組みの実効を上げるためには不可欠と考えられる会議所と商店主の連携と意識改革についてどう取り組まれていくのか、その手法について伺います。

*産業政策について

・前橋市の最重要課題である企業誘致・産業政策を推進するにあたって大事なことは、人脈を有効に活用すること。前橋市の名誉顧問である日本商工会議所会頭の三村明夫氏の豊かな経験・経歴から企業誘致・産業政策など、ご示唆をいただくことで展望は開けるものと考えます。「交渉力」今後どのような対策を講じられていくのか明確な答弁を求めます。

*部活動について

・部活動について、最近先生方の得意種目と担当種目のミスマッチが多く発生しているが、このような現象についてどのような対応を取られるのか伺います。

第三回(九月)定例会
委員会質問(抜粋)

*指導監督運営事業について

・厚労省は30年度から要介護高齢者の自立支援で成果を上げた介護サービス事業所への報酬を引き上げる自立支援介護制度に舵を切る。施設側が入所者を選択するというようなことになると行き場のない高齢者の存在が考えられる。制度の変更によって見方・考え方も変わるなど、このような環境の中で適切な監査・指導ができるのか疑問を呈さざるを得ないと思えますが見解を伺います。

*放課後児童クラブについて

・就労等により保護者が、下校時、家庭にいない小学校の児童に対する支援策として放課後児童クラブの存在は、保護者にとって安全・安心の場として有効に活用されている。児童クラブの対象学年が6年生まで引き上げられたとはいえ、現実の問題として定員超過のために入れない児童も多い。保護者の不安払拭のためにも公設・民営の受け入れ環境の改善に向けた努力は避けて通れないと思われませんが考え方に伺います。

*児童虐待防止事業について

・児童福祉法改正で「子育て世代包括支援センター」が設置されましたが、具体的な活動内容はどのように変わったのか伺います。

*青少年非行防止・被害防止事業
ジュニア

・いじめのツールとして「ライン」が利用されるケースも多く、自殺という悲惨な事件に至るケースも発生していることから、未然防止・早期発見・解消に努めたことから関連機関との連携の重要性を感じますが、その対応について伺います。

・今日の社会情勢から家庭環境の把握や指導などの必要性を強く感じる事例も多く、家庭とのキャッチボールは欠かせないものと考えます。家庭に対する支援も含め「情報提供」の担当部署はどこになるのか伺います。

*保育所管理運営事業について

・待機児童の問題については受け入れ施設における3歳未満児の取り扱いが大きな問題ともなっている。保育士の配置や面積要件の緩和など自治体主導での解決を模索している状況にある。保育の質の低下が大きな社会問題となっており、事故の増える懸念などについてはどのように考えていかれるのか伺います。

地域の課題について

○街区公園への遊具・休憩施設の整備

○通学路・生活道路の安全・安心確保として路面の「白線」の早期見直し

市政に関するご意見・ご要望がありましたらご連絡ください

自宅事務所
〒371-0801
前橋市文京町1-45-3
TEL: 027-221-2208
FAX: 027-221-2279
携 帯: 090-3314-6881

議会事務局 〒371-0026
前橋市大手町2-12-1
TEL: 027-224-1111
所属 会派: 市民フォーラム
所属委員会: 教育福祉常任委員会・委員

